

# 久山中便り

久山中学校  
令和8年3月24日発行  
第86号

## 振り返りと決意

### 修了式

三学期の修了式を迎え、学年と生徒会の代表から決意のお話がありました。  
一部紹介します。

最近の学校の様子を見てみると、以前より班での話し合いが活発になっていたり、各学年の生活委員の声掛けによって駐輪場で自転車に鍵をかける生徒が増えていたり良い変化が見られます。しかし、その一方で、休み時間や図書館での過ごし方など、まだ改善していかなければならない課題も残っています。挨拶や心の花エリアでの一礼など、当たり前のことを当たり前にできる学校であることも大切だと思います。これらの課題を踏まえ、生徒会スローガンである「共創前進」に近づけていくために一人一人が自分から積極的に生徒会活動に参加し考えを深めていきましよう。そして、学校生活に対する意識を高め、お互いに声をかけ合える関係を築いていきましよう。(生徒会生活委員長)

私が三学期に頑張ったことの一つは、「三分前行動」です。二学期は、移動教室があるときなどもギリギリになったり、遅れたりすることがありました。そのため、授業の準備ができなかったり、時間が少し短くなったりしてしまったりがありました。しかし、三学期は「三分前行動」を意識したことで授業に遅れることがなくなりました。二年生では中学校での大きな行事としての「修学旅行」があります。立派な姿で修学旅行に行けるように、学習面だけでなく、生活面も今から意識して整えていきたいと思っています。(一年生代表)



私が三学期に頑張ったことの一つに、吹奏楽部員として臨んだ卒業式の演奏があります。三年生たちが卒部して、演奏で頼っていたところがすぐに見つかりました。合奏はボロボロでした。しかし、練習を重ねるうちに指揮に合わせられるようになってきました。そして、卒業式では、今まで練習してきたことを発揮できました。とても緊張しましたが良い経験になりました。三年生になったら、最上級生として久山中学校の顔になるという意識を持ち、後輩たちの手本になれるようになって

てきたいです。(二年生代表)  
本当にたくましく成長した一・二年生、生徒会役員だと思います。

特に、決意の中でも述べられていたように、「二年生は久山中学校の顔」となります。地域の方に、いつも支えてもらっているという意識が大切です。

感謝の気持ちを強くしながら、進級した姿を見せていきましよう。

### 最後の話し合い

修了式では、一年間通じて紹介してきた「話し合い」を行いました。

問題は、冬季五輪ペアスケートで「りくりゆうペアは失敗を乗り越え、フリーの演技で逆転して金メダルを取れたのは、なぜか。」でした。

「追い込まれると力を発揮できた」「練習の積み重ねがあった」など回答してくれました。(ちよつと少なかつたですが…)

生成AIで調べると「切り替えの大切さ」「こつこつとした努力」「集中とリラックス」「基礎基本の徹底」「チームの団結力」などがありました。(画像も生成AI作成)

私たちにも、当てはまることばかりです。

